

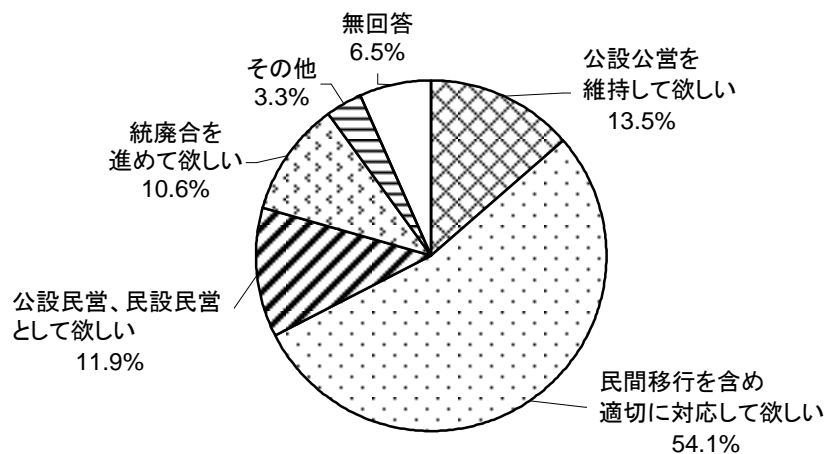
### 3-2 公共施設の民間移行についての考え方

◎ 「民間移行を含め適切に対応して欲しい」が5割半ば。

問19. 市民サービスを維持していくためにはマンパワーが必要です。職員を削減しつつサービスを維持するために、公共施設の管理運営・事務事業の実施を民間に移行していくことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。(1つだけに○)

公共施設の民間移行について聞いたところ、「民間移行を含め適切に対応して欲しい」が54.1%で最も多く、次いで、「公設公営を維持して欲しい」が13.5%、「公設民営、民設民営として欲しい」が11.9%、「統廃合を進めて欲しい」が10.6%となっている。

図 3-2-1

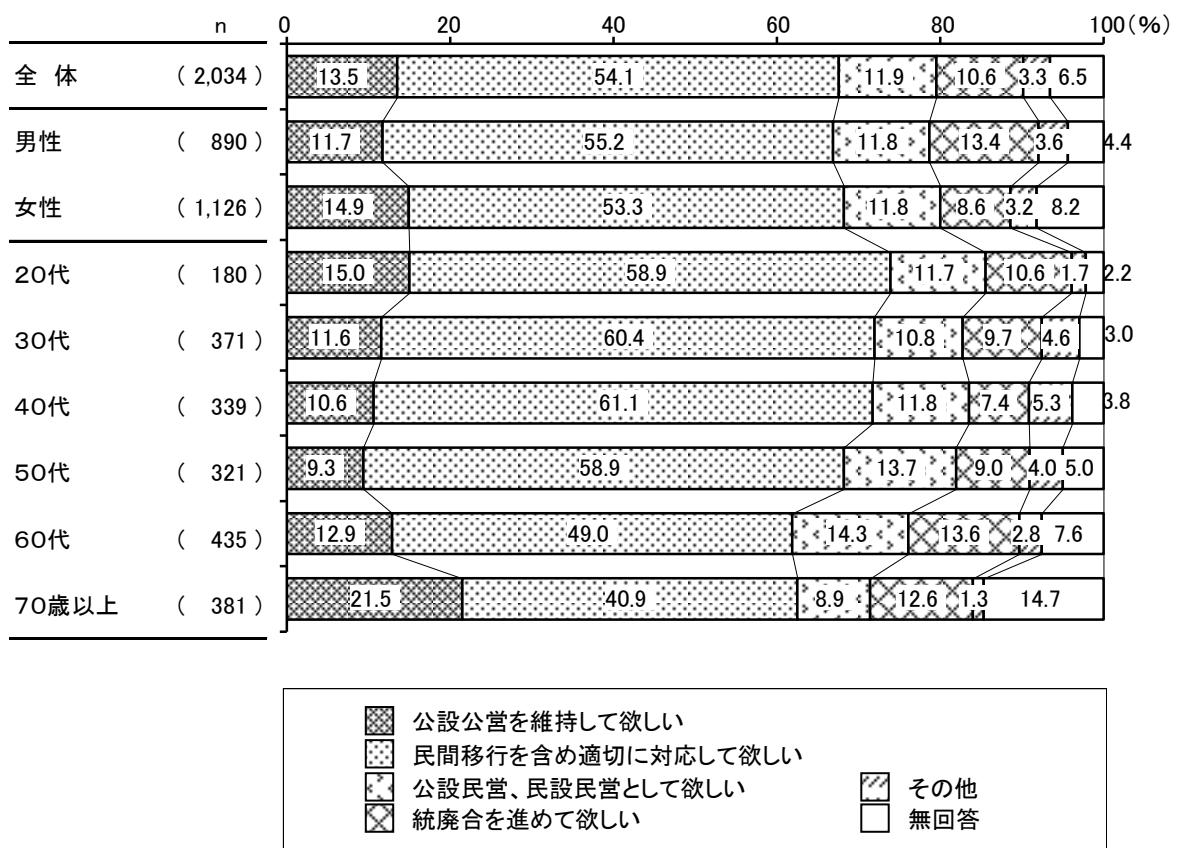


n=2,034

性別にみると、男性は「統廃合を進めて欲しい」が4.8ポイント高く、女性は「公設公営を維持して欲しい」が3.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「民間移行を含め適切に対応して欲しい」は20代から50代で6割前後となっている。「公設公営を維持して欲しい」は70歳以上で2割となっている。

図3-2-2 公共施設の民間移行：性別・年齢別



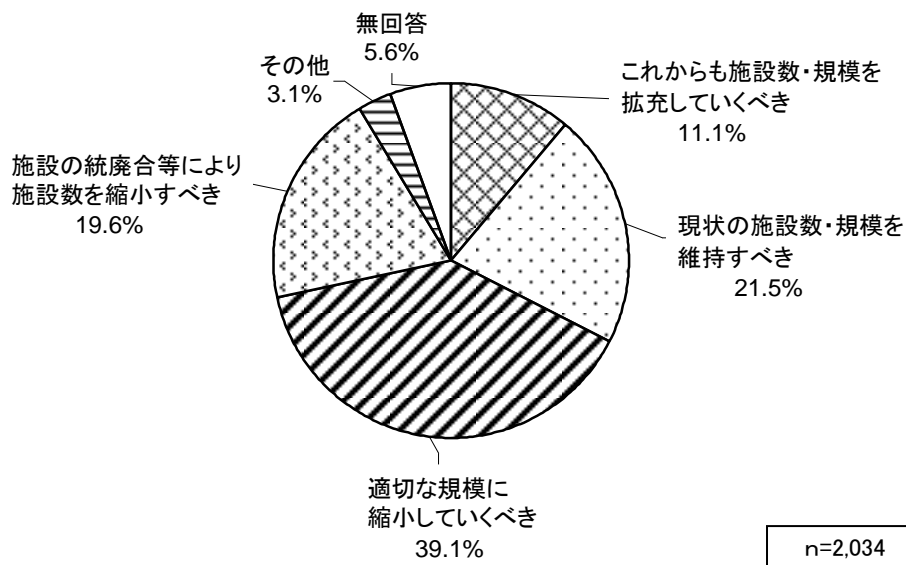
### 3-3 公共施設の施設数・規模についての考え方

◎ 「適切な規模に縮小していくべき」が4割。

問20. 「習志野市公共施設マネジメント白書」等の分析により、本市の公共施設の耐震化の遅れや、老朽化の問題が明らかになってきました。現在の施設数・規模を維持したまま、改修・改築を行っていくと、今後多大な費用負担となることが見込まれます。この対策について、あなたはどのようにお考えになりますか（1つだけに○）

公共施設の施設数・規模を維持したまま改修・改築を行なうべきかについて聞いたところ、「適切な規模に縮小していくべき」が39.1%で最も多く、次いで、「現状の施設数・規模を維持すべき」が21.5%、「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」が19.6%、「これからも施設数・規模を拡充していくべき」が11.1%となっている。

図 3-3-1



性別にみると、男性は「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」が 6.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「適切な規模に縮小していくべき」は 20 代から 40 代で 4 割以上であるが、年齢が高くなるにつれて減少傾向となっている。「施設の統廃合等により施設数を縮小すべき」は 60 代で 2 割半ば、「これからも施設数・規模を拡充していくべき」は 70 歳以上で 1 割半ばとなっている。

図 3-3-2 公共施設の施設数・規模：性別・年齢別

